

Campus Mail

For all the students

FIT Fukuoka Institute of Technology
福岡工業大学

この件のお問い合わせは広報課へ
TEL : 092-606-0607
MAIL : kouhou@fit.ac.jp

掲示期間 2025-144
10月17日～11月6日

第40回 FD Café 「大学におけるつながりについて考えよう！」 を開催しました

9月19日（金）、第40回 FD Café が開催され、学生27名、教職員21名の計48名が参加しました。今回は「大学におけるつながりについて考えよう！」をテーマとして、大学における「つながり」に関して、学生の声からみえる現状と課題、つながりに必要な要素や得られる効果などについて共に考えました。このFD Caféは、教員と学生が意見を交わし、学習者本位の教育や授業改善につなげることを目的としています。プログラムは、まず初めに学生FD FIT-join が前期に実施した学生アンケートの報告を行い、次に情報通信工学科の松尾慶太教授のファシリテーションによるグループワークでは、大学におけるつながりをテーマにディスカッションを行い、各グループのまとめを発表しました。



グループワークでの発表の様子



ファシリテーターの情報通信工学科 松尾慶太教授

＜ 学生アンケート 結果報告 ＞ FIT-join より ・ 実施期間：2025年6月18日（水）～7月9日（水）
・ 回答数：482件（目標500件、達成率96%）

アンケートでは、「人とのつながりがある人ほど学生生活が充実しているのではないか」という仮説のもと、482名から回答を得ました。結果、91%の学生が「充実している」と回答し、友人との協働学習や教員との交流が充実度に影響していることが明らかになりました。

その分析を踏まえ、提案①「教員と話す機会の拡充」、提案②「協働学習の場の整備」が提示されました。例えば、講義前後の交流時間の設定や、図書館などでのグループ学習スペースの拡充が挙げられました。

グループワークでは、「大学でのつながりを活性化するために」をテーマに、交流の場の整備や研究室紹介の機会、本音で話せる場の必要性など、多様なアイデアが発表されました。

最後に松尾教授は「つながりがあることで、困難な状況でも力を発揮できる」と語り、前田副学長からは「学生視点の提案を今後の大学改善に活かしていきたい」との謝辞が述べられました。参加者からは「大学の設備や教員との交流をもっと活用したい」「つながりを作るには自ら動く姿勢が必要」といった前向きな声が寄せられ、つながりの重要性を再認識する機会となりました。



副学長（教育開発推進機構長）前田洋教授

※本件の詳細は <https://oped.fit.ac.jp/news/156/detail> をご参照ください。